■発行／能代市議会　〒016-8501 能代市上町1番3号　TEL 0185-89-2922　FAX 89-1784　ホームページ http://www.city.noshiro.akita.jp/　メールアドレス gikai@city.noshiro.akita.jp

2月臨時会

イオン出店の賛否を問う住民投票条例制定は否決

臨時会は2月6日と8日に本会議を開会し、（仮称）イオン新能代ショッピングセンター出店の賛否を問う住民投票条例の制定については、賛成少数（賛成11、反対16）で否決となりました。

市長は、地方自治法に基づき「平成16年から18年までに行われた郊外型大型店の出店についてのアンケートで、市民の意向は把握できていると考えるので、条例を制定する必要はない」との意見を付して、議会に条例案を提案し、6日には請求代表者の意見陳述が行われ、審査特別委員会を設置して詳細に審査しました。

特別委員会では、投票資格者は将来のまちづくりを考え、18歳以上とすることは考えられないか、市長意見にあるアンケートは消費者の立場であり、地域づくりをする視点にはなっていないのでは、など多くの意見のほか、農業振興地域のあり方や交通渋滞予測、排水対策など当局に説明を求めました。

8日に本会議を再開し、特別委員会の審査報告がされた後、条例案に賛成する議員から「市を二分する混乱に終止符を打つために住民投票が最良の方法である。結果を尊重し、まちづくりのため協力体制を構築することが求められている」「市長はイオン出店と中心市街地活性化法に基づくまちづくりのどちらを選ぶか市民に問うてない。住民投票はイオン出店とまちづくりを真摯に考えるまたとない機会である」「市民の問題意識は高まっている。十分な説明もなく市民の不安や疑問は広がるばかり。まちづくりを進めるためにも市民が一緒に考えていくべき」との討論がありました。

また、「イオン出店問題は30回近く議論され、市民や関係団体には持ち得るデータをもとに説明会を開催し、説明責任は果たしている。市民意識調査などでは多くの市民が大型店出店を容認し、根拠は明白である。また、今後の政策でも住民投票となりかねず、議会制民主主義さえ問われかねない」との反対討論が行われ、採決の結果、本案は賛成少数で否決されました。

《議会を傍聴しませんか》

6月定例会の予定は左の表に掲載したとおりです。どなたでも傍聴できますのでお気軽においでください。

備え付けの「傍聴者名簿」に住所・氏名を記入して、2階の傍聴席へお入りください。

6月定例会の請願陳情の提出は、開会日（6月11日）の午前10時までとなっています。

6月定例会の予定

○11日……開会・提案説明
○16～18日……一般質問
○18日……議案の質疑
○19～20日…常任委員会
○25日……議決・閉会

会議の日程及び開議時刻（午前10時）は変更する場合がありますので、議会事務局までお問い合わせください。

傍聴者の託児サービス

託児サービスをご利用される方は、傍聴希望日の3日前まで（土・日を除く）に議会事務局にお電話ください。（☎89－2923）無料でお子さんをお預かりいたします。なお、託児サービスは一般質問（6月定例会は16～18日の予定）に限らせていただきます。

●対象年齢　満6カ月から未就学児
●託児時間　午前10時～午後4時
●託児場所　本庁舎1階宿直室
●その他
◇お子さんに必要な飲食物、着替え等は保護者がご持参ください。
◇お子さんは保育士・保育ボランティアがお世話します。
◇申込人数が多いときや、お子さんの健康状態によっては、お預かりできない場合があります。

議長交際費を公開します

《1月分》
○あきぎん会新年交歓会……10,000円
○その他新年会等6件……45,500円
○自治体首長及び議会議長と郵便局長との協議会……5,000円
○市議会議員亡父葬儀香典・盛花……30,000円

《2月分》
○二ツ井地区土地改良区合併予備契約調印式並びに祝賀会……10,000円
○木高研・推進機構と木材関連業界等との交流会……5,000円

《3月分》
○能代市火災予防組合連合会予防功労表彰式……10,000円
○二ツ井白神土地改良区統合整備推進協議会合併予備契約調印式並びに祝賀会……5,000円

※詳しくは第1庁舎の行政情報コーナーで閲覧できます。

編集後記

3月の出来事から。地元紙のコラム「よそ者が刺激を与える街」が目にとまる。政治家が街を活性化する要因を「若者ばか者よそ者」と指摘し、地域外から多くの人材を受け入れて、刺激を受けながら街を発展させた誇りがあると結んでいました。

関東能代会より寄贈された枝垂れ桜が、檜山地区に植樹されました。同会は関東のしろ会と在京能代会が、統合されたばかり。故郷への思いとともに、幾度も貢献されています。

ふるさと納税制度が取りざたされる昨今、ふるさとを、地元にいる私たち、よそから支えていただいている人たちが「共に考え交流する機会を持ちたいものだ」との思いを馳せた、新市議会だより発刊から2年たった今日この頃です。

（安岡）

議会だより編集委員会

委員長　田中　翼郎
副委員長　武田　正廣
委員　針金　勝彦
〃　信太　和子
〃　菊地　時子
〃　穴山　和雄
〃　渡辺　優子
〃　安岡　明雄